



DIRECT DRIVE TURNTABLE

VTC-1T MKII

取扱説明書

VESTAX TO THE CORE

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、Vestax to the core オリジナルターンテーブルVTC-1TMKIIをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

取扱い上のご注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
お使いになる前に	4
各部の名称	5
組み立て方法	6
接続と設置	7
調整方法	8
演奏方法	9
故障かな?と思ったら	10
保証、アフターサービスについて	11
主な仕様	11

取扱い上のご注意

針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。トーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、取り付けてください。

シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音ができるだけでなく、スピーカーをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- スリップマットとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- トーンアームをアームレストに戻し、更にテープまたは紐等で結んで動かさないように固定してください。
- バランスウェイトやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。